

Kanazawa University Museum News Letter

金沢大学資料館だより

No.21 Feb.28.2003



金沢大学資料館展示室

--目次--

金沢大学資料館概要	…2
資料紹介 第四高等学校物理機器から	…7
資料館彙報	…8

# 金沢大学資料館概要

金沢大学資料館15周年記念特集

金沢大学資料館は平成15年度に創設15周年を迎えます。これを機に、資料館の現状と15年の歩みを紹介します。

現状

資料館は、社会に開く大学の窓であると同時に、過去・現在・未来の大学を省察する拠点であらねばならない。国立大学の独立行政法人化を目前にひかえ、資料館が本学の綱領「地域と世界に開かれた大学」を念頭に、学内外の資料を積極的に収集し、整理と普及活動をすすめるのはこのためである。

平成13年度（2001）の調査によれば、本学には110万点を超える学術標本（研究・教育に資する資料、研究・教育の結果生み出された資料）が所蔵されている。資料館はこれらを広く社会に公開・還元する窓口として、特別展示・公開講演会・紀要刊行などの事業を行っている。資料館自体の収蔵品は、現状では質量ともに全学の十分の一にも満たないが、その中には、暁鳥敏陶磁器コレクションなどの文化史資料、守屋以智雄岩石試料コレクションなどの自然史資料、旧制第四高等学校物理機器などの科学技術史資料をはじめ、各分野の多様な資料が含まれており、小さいながら大学総合博物館の体をなしている。

このほか資料館では、平成13年度以来、本学の歴史に関わる資料（大学史料）を収集することとなった。これは情報公開法の施行、金沢大学五十年史編纂事業の完了、第Ⅱ期総合移転の開始、部局の再編など、学内外の諸事情による資料の散逸を防ぐための事業である。資料なくして大学の将来は語り得ない。歴史的省察は展望の根拠であり、現在は未来の過去であるからである。大学史料の中には、前身校（第四高等学校、金沢高等師範学校等）の資料はもとより、保存期間が満了した本学行政文書の一部も含まれており、目下整理中である。資料館は近い将来、大学文書館の機能も併せ持つことになろう。

沿革

城内キャンパス

金沢大学は県内7校の旧制官立校を統合し昭和24年（1949）に創設され、旧陸軍が置かれていた金沢城址を主なキャンパスとした。やがて城内キャンパスは手狭となり、昭和50年代初めごろから総合移転が検討されはじめた。

資料館檢討小委員會

昭和59年9月、総合移転実施特別委員会（昭和54年設置）に、「資料館検討小委員会」が設置された。同小委員会は昭和62年2月「資料館の基本構想」を提案、総合移転実施特別委員会と将

来計画検討委員会（昭和51年設置）において承認された。

「資料館の基本構想」の「目的」には、総合移転にあたり「現蔵する資料を基礎として」「人文科学関係の学術研究資料を系統的に収集整理保存してそれを研究し展示公開する」、さらに「総合大学の特性を発揮して自然科学系の資料も積極的に展示公開し、専門を異にする諸分野の研究成果を交流して学問的認識を高める」とことがあげられている。

## 資料館設置準備委員會

昭和63年3月、上記「基本構想」を受けて、将来計画検討委員会内に「資料館設置準備委員会」が発足、「当初搬入資料等」、「資料館事業内容」、「金沢大学資料館規程」等を策定した。同年11月これらをまとめた「金沢大学資料館設置準備に関する報告書」を提出した。同報告書には「本資料館を将来 University Museum に発展させるための基礎づくりとして」と、この時点で既に大学総合博物館への言及がある。

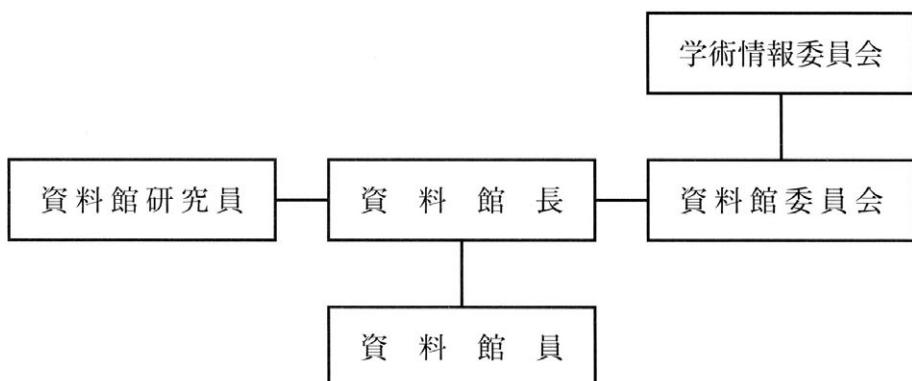
設立から今日まで

平成元年4月、「本学における学術研究資料を系統的に収集、整理及び保存し、教育研究に資することを目的とする」(資料館規程第2条)、学内共同利用施設として設立された。資料の収集・整理・保存、講演会等の開催、他機関等との相互交流,展示,館報・紀要の発行等の業務を行っている。

設立時の資料を核として新たな資料を収集し、資料の収蔵経緯の解明・資料への考察・資料の目録化・画像データベース化を進めてきた。平成13年度から大学史料も収集している。

組織

金沢大学資料館は金沢大学学内共同利用施設の一つであり、資料館長、資料館研究員、及び資料館員からなる。資料館には資料館委員会が置かれ管理運営に関する重要事項等を審議する。資料館委員会の議事は本学の基幹委員会のひとつである学術情報委員会に報告される。



## 館 長

館長（併任）

笠井 純一 (文学部 教授)

## 資料館委員会

資 料 館 長

笠井 純一 (役職指定)

附 屬 図 書 館 長

和田敬四郎 (役職指定)

(大学院自然科学研究科教授)

文 学 部 教 授

佐々木達夫 (任期 平成13. 4. 1～15. 3. 31)

教 育 学 部 助 教 授

鷺山 靖 (任期 平成13. 4. 1～15. 3. 31)

教 育 学 部 助 教 授

松原 道男 (任期 平成13. 4. 1～15. 3. 31)

法 学 部 教 授

金子 靖孝 (任期 平成14. 4. 1～15. 3. 31)

經 济 学 部 教 授

丸山 瑙一 (任期 平成13. 4. 1～15. 3. 31)

理 学 部 講 師

小田 龍樹 (任期 平成13. 4. 1～15. 3. 31)

大学院医学系研究科教授

小泉 晶一 (任期 平成13. 4. 1～15. 3. 31)

藥 学 部 教 授

関崎 正夫 (任期 平成13. 4. 1～15. 3. 31)

工 学 部 教 授

渡邊 明敏 (任期 平成13. 4. 1～15. 3. 31)

がん研究所助教授

久野 耕嗣 (任期 平成14. 10. 1～15. 3. 31)

## 紀要編纂委員

委 員 長

笠井 純一

委 員

和田敬四郎  
松原 道男  
丸山 瑙一

## 研究員・客員研究員

(大学史)

文学部助教授

平瀬 直樹 (任期 平成13. 9. 1～15. 8. 31)

文学部助教授

能川 泰治 (任期 平成13. 9. 1～15. 8. 31)

文学部助教授

古畑 徹 (任期 平成13. 9. 1～15. 8. 31)

教育学部教授

江森 一郎 (任期 平成13. 9. 1～15. 8. 31)

教育学部教授

奥田 晴樹 (任期 平成13. 9. 1～15. 8. 31)

法学部教授

梅田 康夫 (任期 平成13. 9. 1～15. 8. 31)

経済学部教授

橋本 哲哉 (任期 平成13. 9. 1～15. 8. 31)

(自然史)

理 学 部 教 授

植田 邦彦 (任期 平成14. 8. 1～16. 7. 31)

理 学 部 助 教 授

神谷 隆宏 (任期 平成14. 8. 1～16. 7. 31)

薬学部教授  
本学名誉教授（文学部）  
(科学技術史)  
元石川県立高浜高等学校長  
本学名誉教授（教養部）  
本学名誉教授（理学部）

みかげ	まさゆき	(任期 平成14. 8. 1~16. 7. 31)
御影	雅幸	(任期 平成15. 2. 28~17. 2. 28)
もりや	いちお	
守屋	以智雄	
いまえ	しんせい	(任期 平成11. 9. 1~16. 7. 31)
今江	新成	(任期 平成14. 8. 1~16. 7. 31)
たけむら	まつお	(任期 平成15. 2. 28~17. 2. 28)
竹村	松男	
いたがき	えいじ	
板垣	英治	

事務部

附属図書館事務部長  
附属図書館情報管理課長  
附属図書館情報サービス課長  
附属図書館情報管理課専門員  
附属図書館情報サービス課専門員  
附属図書館総務係長  
資料館事務補佐員  
資料館事務補佐員

歷代館長

文学部教授  
教育学部教授  
理学部教授  
教育学部教授  
教育学部教授  
文学部教授

さだすえ 貞末	たかじ 堯司	(平成1. 5. 25~4. 3. 31)
いまい 今井	はるお 治男	(平成4. 4. 1~7. 3. 31)
おおはしのぶきみ 大橋信喜美	たかはる みやした	(平成7. 4. 1~9. 3. 31)
みやした 宮下	孝晴 よしあき	(平成9. 4. 1~11. 3. 31)
みよし 三好	昭義 じょうぎ	(平成11. 4. 1~13. 3. 31)
かさい 笠井	純一 じゅんいち	(平成13. 4. 1~現在に至る)

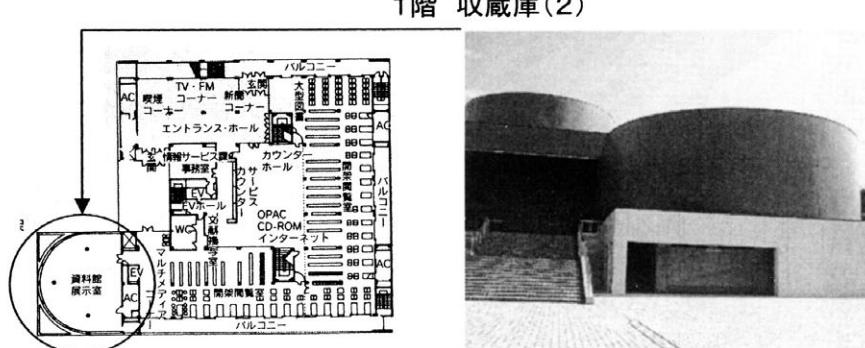
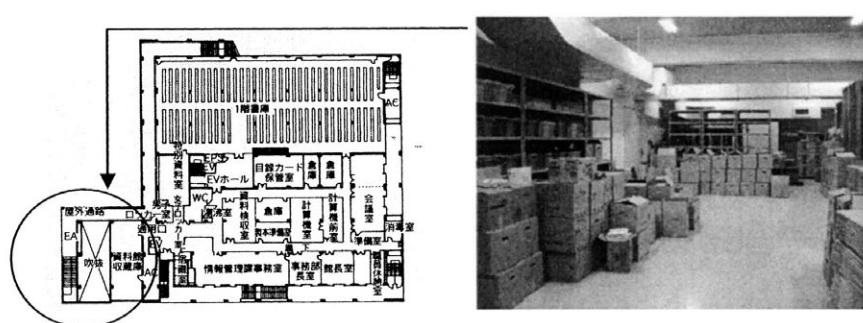
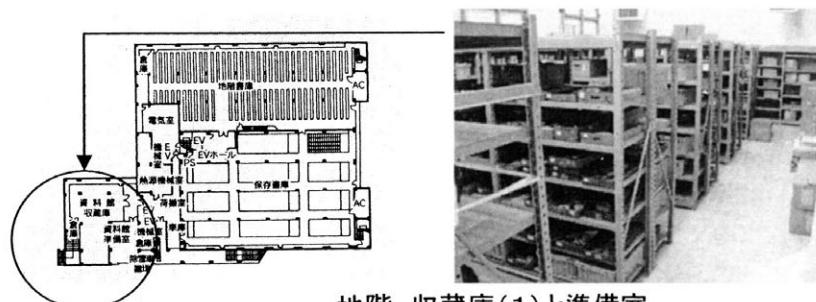
歷代研究員

所 属（當時）  
（社）石川県埋蔵文化財保存協会  
石川県教育委員会  
同 上  
同 上  
同 上  
金沢市立玉川図書館  
金沢市立小坂小学校教諭  
金沢大学五十年史編纂室

氏名	研究テーマ（任用年次）
三浦 純夫	資料館所蔵の石造遺物の調査（平成5～7）
関戸 信次	第四高等学校旧蔵物理機器の調査（平成9～11）
佐藤 政俊	同上（同上）
田淵 憲志	同上（同上）
高瀬 達也	同上（同上）
宇佐美 孝成	資料館所蔵の小中屋文書の調査（平成8～10）
の 野間 成之	チルドレンズ・ミュージアム／ハンズ・オンの研究（平成11～13）
さかい 酒井 誠一	保存すべき大学史料の選定（平成13～14）

## 施 設

階 別	部 屋 別	事 勿 室 等 管 理 部 門 (m <sup>2</sup> )	収 藏 部 門 (m <sup>2</sup> )	展 示 部 門 (m <sup>2</sup> )	計 (m <sup>2</sup> )
地 階	前 室	31			31
	暗 室	8			8
	展示準備室	81			81
	収藏庫(1)		180		180
	倉 庫	8			8
1 階	収藏庫(2)		123		123
2 階	展 示 室			301	301
	通 路	8			8
合 計		136	303	301	740



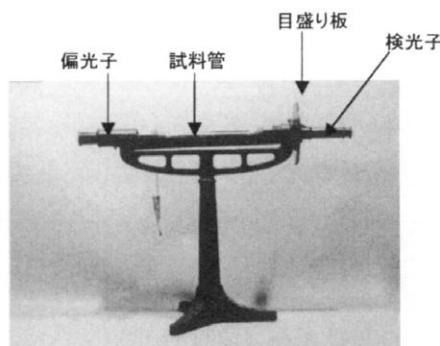
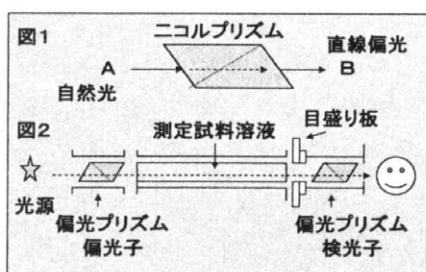
## ～資料紹介～ 第四高等学校物理機器から

板垣英治 \*

### ミッケルリッヒ氏糖度計 (Mitscherlich Saccharimeter)

糖類の旋光性を用いてその濃度を測定する機器である。鏡筒内部には方解石の結晶で作成した2個の偏光プリズム（ニコルプリズム、図1）がある。左側は偏光子、右側は検光子である（図2）。Aよりのプリズムへの入射光は直線偏光としてBに通過して来る。

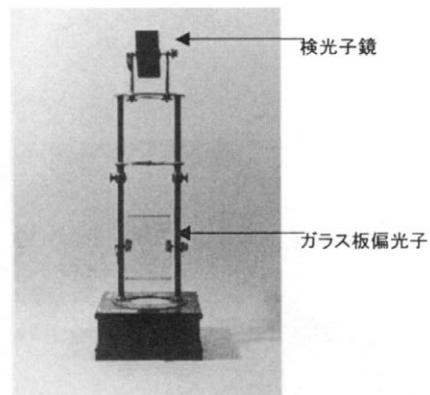
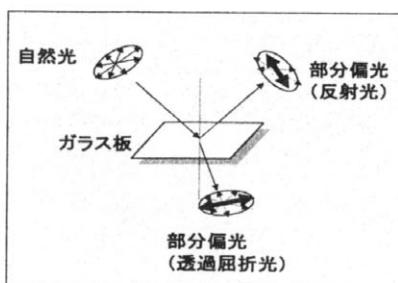
- (1) 偏光子を通った偏光を通さないために検光子を廻して視野を暗黒にする。この時の目盛りの読みをゼロにとる。
- (2) 試料管に糖溶液を入れると、偏光面が回転して視野が明るくなる。
- (3) 検光子を廻して再び視野を暗黒にする。このときの目盛りを読む。この値が溶液の旋光度であり、濃度を知ることが出来る。



C.P. Geertz, Berlin 製

### ネレンベルグの偏光器 (Nörrenberg's Polariscopic Apparatus)

透明なガラス板（偏光子）の表面に約57度の角度で自然光を投射すると、その一部は反射する。この反射した光は直角に振動する光（平面偏光）が多く含まれている（左図）。この偏光器では、この反射した偏光を上の黒漆塗りの鏡（検光子）で受けて観察する。検光子の鏡の位置により、鏡面の明るさが変り、最も明るい時の目盛りの位置が偏光の振動面の角度である。



\* KUTLO 代表取締役社長・本学名誉教授

## 資料館彙報（平成14年11月～平成15年2月）

- |   |                       |
|---|-----------------------|
| 11月 6日 富山県立福岡高等学校 PTA 来館  | 12月 24日 朝日新聞京都支社記者訪問  |
| 11月 7日 石川県立飯田高等学校 PTA 来館  | 2月 3日 旧制第四高等学校旧蔵小松宮彰仁 |
| 11月13日 国際協力事業団（JICA）青年招<br>聘事業によるインド教育行政官一<br>行来館                     | 親王筆「至誠」扁額常設展示         |
| 11月15日 旧制第四高等学校関係資料を搬入  | 2月10日 東北大学名誉教授増本健氏来館  |
| 11月20日 『資料館だより』No.20発行  | 2月27日 文部科学省職員来館       |
| 12月20日 旧制金沢高等師範学校関係資料、<br>旧制金沢医科大学薬学専門部関係<br>資料、旧制金沢工業専門学校関係<br>資料の搬入 | 2月28日 平成14年度第4回資料館委員会 |

保存期間が満了した行政文書の収集にご協力いただきありがとうございます。

日々の業務の中で生成される行政文書は、大学史・高等教育史研究、年史編纂、大学の自己確認・自己評価等のための貴重な資料であり、これを大学として収集保存せねばならないという使命に私どもは取り組みました。収集の初年度で、とにかく散逸させないこと、貴重な資料であることの認識を皆さまと共有することができましたことは、収集以上に大きな成果でした。

今後も、保存期間が満了する行政文書及び前身校関係文書を含む古い行政文書の収集を継続いたします。引き続きご協力をお願いします。

なお、今年度退官・転出される先生方で、お手持ちの文書資料等を資料館にご寄贈（移管）  
くださる方はご一報ください。よろしくお願ひいたします。



資料館長

### 金沢大学資料館だより 第21号

館 長 笠井 純一（文学部教授）

館 員 在田 則子

館 員 田嶋万希子

〒920-1192 金沢市角間町（附属図書館内）

発 行 日 平成15年2月28日

### 金沢大学資料館

編集発行 金沢大学資料館

Tel (076)264-5215 Fax (076)234-4051

ホームページ URL

E-mail museum@kenroku.kanazawa-u.ac.jp

<http://web.kanazawa-u.ac.jp/~shiryo/index.html>